平和宣言都市・環境宣言都市
新宿区

しんじゅくの教育

第68号
平成16年(2004年)12月25日

編集・発行／新宿区教育委員会　新宿区歌舞伎町1-4-1　電話3209－1111
http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/

地域とともに歩む学校

～学校を支える地域のマンパワー～

今、各区立学校では、地域の方がさまざまな形で参加しているのをごぞんじですか?

「子どもたちが暮らしているまちをより深く理解する」、「教育活動の広がりにあわせて、より専門的な知識が必要である」、「一人ひとりにきめ細かな対応をする」などのために、地域の方が学校のさまざまな活動に積極的に参加しています。

これからも地域の皆さんのご協力をいただきながら、子どもたちが学校を拠点に地域社会の中で成長していけるよう取り組んでいきます。

問合せ
スクールスタッフ新宿、学生ボランティア…教育指導課　☎(5273)3084
スクール・コーディネーター…生涯学習振興課地域教育係　☎(5273)3147

スクール・コーディネーター

各区立学校の「総合的な学習の時間」などの授業で、地域の方が大活躍しています。こうした学校と地域の橋渡しを進めているのがスクール・コーディネーターです。

落合中では

9月24日の総合的な学習で、「いろいろな仕事や職業について話を聞こう!」という体験学習を行いました。スクール・コーディネーターが先生と相談の上、PTAなどに広く声かけをした結果、医師、警察官、スーパー経営者、クリーニング店経営者、染色業者と色とりどりの職業に就く人が地域から集まってくれました。

染色工芸ってどうやるの?

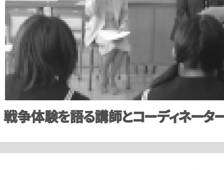
東戸山中では

10月25日、「平和の尊さ」をテーマに道徳授業地区公開講座を開催しました。スクール・コーディネーターは戦争体験談を話してくれる地域の方々を講師として紹介するとともに、自身も各クラスで学童疎開の体験などを話しました。

また、授業後には講師と参観者との意見交換も行われ、戦争体験を伝えていくことの大切さが話し合われました。

講師は「今まで家族にもあまり話す機会がなかったが、今、子どもたちに戦争体験談を伝えなくてはいけないと感じる」「熱心に話を聞いてくれた生徒たちの心に残って、いつか芽が出ればと思う」と語っていました。

参観者も「最近は新聞でも戦争に関する特集記事が減っているようなので、子どもに平和の尊さについて考える機会を与えてくれるのはありがたい」と関心を寄せていました。



戦争体験を語る講師とコーディネーター

スクールスタッフ新宿

教育委員会は、各学校の求めに応じて「スクールスタッフ新宿」を派遣し、各学校の特色ある教育活動を支援しています。

これは、各地域の幼稚園・小・中学校長が一堂に会して、子どもの成長の中でその地域の特性を活かすには「どんな活動が必要か」「そのためにどんな人材が必要か」を話し合い、必要とされた地域人材や情報を地域の財産として各校で共有した人材を有効に活用し、また、こうし広がりのある活動をしていくものです。

漢検・英検などの検定指導、茶道・書道など伝統文化の体験指導、図書整理や読み聞かせ、コンピュータの技術支援、小中連携のための教科の指導補助や未就園児のための幼稚園地域開放事業の補助など、地域の子どもの成長過程に応じた一体性のある教育の充実のため、幅広い分野でいっそうの活用が期待されています。

自分でたてたお茶に舌鼓(大久保小)

学生ボランティア

区立小・中学校で、より充実した教育活動ができるよう、区内にある大学・大学院と協定を結び、学生を教育ボランティアとして学校に派遣しています。子どもたちにとっても、年齢の近いお兄さんお姉さんとの交流は、「質問がしやすい」「声をかけてもらうとうれしい」と好評で、各学校で活躍しています。

授業の補助

一人ひとりの児童・生徒に応じたきめ細かな指導を進めるため、平成14年度より早稲田大学と協定を結び、全学部から教員志望の学生を年間約100人派遣しています。先生が授業をする中で指導の補助として、理解が充分でなかったり意図が伝わっていない児童・生徒をフォローしています。

また、外国からきた日本語がわからない子どもを指導する日本語教育ボランティアの協定を早稲田大学大学院日本語教育研究科と結んでいます。

メンタルサポート

心理カウンセリング学科のある目白大学とは、メンタルサポートボランティアの協定を結んでいます。カウンセリングや心理学を履修した学生や院生が、不登校傾向や悩みのある子どもたちの相談相手となったり、担任の先生とのティーム・ティーチング(TT)で個別に配慮を要する子どもたちへの指導補助を行っています。

教員とALTによる英語の授業で
学生ボランティアが指導の補助(西戸山中)

★本紙は新聞(朝日・産経・東京・日本経済・毎日・読売)折り込みで配布しています。そのほか、主な区立施設などに置いています。

幼稚園と保育園の連携・一元化への取り組みを進めています

現在、新宿区では幼稚園と保育園の連携（幼保連携）と一元化（幼保一元化）に取り組んでいます。

幼稚園と保育園は共に就学前の子どもたちを対象にした施設ですが、幼稚園は学校教育法に基づく「幼児教育施設」、保育園は児童福祉法に基づく「児童福祉施設」として別々に運営されています（左表参照）。

しかし、幼稚園では預かり保育の要望が高まり、保育園では在宅で子育てしている家庭への支援として一時保育を実施するなど、両者の機能や保護者のニーズも共通する部分が多くなっています。

子どもと保護者双方の視点に立って、子どもたちの心身の発達に合わせた一貫した方針に基づく保育・幼児教育を提供していくのが幼保連携・一元化です。

17年9月からは隣接する愛日幼稚園と中町保育園における幼保の連携を、19年4月には新たに開校する四谷小学校に併設して幼保一元化施設の開設を予定しており、「新宿区幼保連携・一元化の理念（案）」をもとに進めていきます。

区ではこれらの事業を円滑に推進するために、企画部に幼保一元化施設開設等準備担当を設置し、さらに幼稚園教諭と保育士、学識経験者で構成する検討チームを設け、新たな課題に取り組んでいます。

年内には理念等の基本的な考え方をまとめ、その後プログラムや行事などの具体的事項を検討し、固めていきますので、幼保連携・一元化に関するご意見やご要望がございましたらお寄せください。

幼稚園・保育園の制度等の比較

項目	幼稚園	保育園
1 所管省庁	文部科学省	厚生労働省
2 目的	「幼児を保育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」	「日々保護者の委託を受けて保育に欠けるその乳児又は幼児を保育すること」
3 対象	満3歳から小学校就学前の児童	0歳から小学校就学前の児童
4 設置者	区・学校法人	区・社会福祉法人等
5 基本開所時間	午前9時～午後2時	午前7時30分～午後6時30分
6 教育・保育時間	4時間（標準）	8時間（原則）
7 給食	なし（お弁当）	あり（自園調理）
8 保育料	定額保育料	所得による階層別保育料
9 通園区域	なし	なし

新宿区幼保連携・一元化の理念（案）

・幼稚園の文化と保育園の文化が融合し、あらたな価値を備えた子どもの育ちの環境を創造する。

・子どもを真ん中に保護者と地域の人々と保育者が手を携え、子どもの幸せを実現する。

・子育ての大切さをみんなで認めあい、子どもと子育て家庭を支援する地域をめざす。

問合せ
企画部幼保一元化施設開設等準備担当
福祉部保育課保育係
☎（5273）4525
学校運営課保健給食幼稚園係
☎（5273）3103

夢をはぐくむ子どもの世界を

教育委員会委員長職務代理者
櫻井美紀子

学校訪問をして一番寂しく思うのは、子どもの数の少なさである。小学校では各学年とも単学級のところが多く、しかも一番少ないクラスは14人という少人数である。中学校では1クラス9人の学校もある。

少人数学級が必ずしも悪いわけではない。「習熟度別」クラスだって少人数だ。少人数であるための利点はたくさんあるだろう。ただ、子どもの数が少ないということは、『子どもの子どもによる子どものための』世界が作りにくいことになる。

大勢のクラスメートの中で、あるいは家庭、地域でたくさんの兄弟・友人の中で遊び、喧嘩をし、仲直りをしながら子どもたちは自然に社会のルールを学ぶことができた。力の強い子、勉強のできる子、人にやさしい子、どんな子でもそこには居場所があった。お互いの存在を認め合い、大いばりで子どもであることを楽しんできたように思う。

今は大人が子どもの世界を取り仕切っている。大人の価値観を押しつけ、どの子にもみんな同じ目的へ向かわせているのではなかろうか。それでは大人の価値観からはずれた子どもは行き場を失ってしまう。

当たり前のことながら、一人として同じ子どもはいない。性格、能力、体力、そして未来へ描く夢だって一人ひとり違っているはずだ。同じ型にはめられるわけがない。

他人と同じではない自分。たった一人の自分。そんな自分を大事にしてほしいと思う。学校でも、家庭でも大事にされているという実感をもってほしいと思う。

生まれてきてよかった、と言ってもらえれば、親としてはこれ以上うれしいことはない。この先生と出会えてよかったと言われることは、教師冥利に尽きるのではないだろうか。

学校選択制も導入された。この学校を選んでよかったといわれるように、各小・中学校とも努力を惜しまないであろう。

言うまでもなく、「教育」は社会の基本をなす、一番大切で一番大きな問題である。教育委員会では、通常の委員会のほかに自主的な委員協議会を持ち、新宿区の子どもたちの教育について活発な意見を出し合っている。

みなさまもどんどんご意見をお寄せください。

イキイキ家族、わくわく地域

地域家庭教育推進事業

現在の家庭環境の変化に対応し、親子のふれあう機会や親だけで話し合う場を設けるなど、『家庭教育を支援する事業』を展開しています。この事業は、すべての家庭を対象とし、様々な団体の協力を得ながら新宿区地域家庭教育推進協議会が実施しています。

親子で遊ぼう！「親子で一冊　手づくり絵本」

協力団体― 手作り絵本の会くわっ

14組の親子が9月4日から全5回、中央図書館に集まり、親子で協力してオリジナルの絵本作りに挑戦しました。子どもが話を考えて親が絵を描いたり、親の話に子どもが絵をつけたりと、それぞれの親子が14通りの絵本作りを進めていきました。

最終日には発表会と読み聞かせの会を行い、「とても楽しかった」「親子の思い出ができた」「また参加したい」と愛情と夢がいっぱいつまったオリジナルの絵本を宝物のように大事にしていました。

お父さん一緒に遊ぼう！「ダンボール・新聞紙で砦を作って遊ぼう！戸山が原の合戦」

協力団体― 戸山あそび場

10月16日（土）～17日（日）に大久保小学校の体育館で合戦が繰り広げられました。父親の家庭教育への参加促進を目指し、1泊2日で行ったこの事業では、10組の父子が西軍・東軍に分かれて戦いました。両軍はダンボールや新聞紙でそれぞれの砦を築き、自分が作った手裏剣や刀を使った熱戦の結果、西軍に軍配が上がりました。

合戦の始まりだ！「おー！」

お父さんは「思いきり戦ったので筋肉痛だけど痛快」、子どもは「お父さんが面白かった」「またやりたい」と父子で充実した2日間が過ごせたようです。

今回は2例をご紹介しましたが、来年2月まで様々な事業を企画しています。少しでも興味のある方は、ぜひご参加ください。

子どもの居場所づくり

今年度から、『子どもの居場所づくり』として、放課後や土曜・日曜の学校施設を活用して、多くの大人たちが子どもを見守り、地域を舞台に交流する活動が始まりました。スクール・コーディネーター、学校、PTAで構成する運営協議会が核となり、地域の方々と一緒にいろいろな活動に取り組んでいます。

納涼きもだめし（戸塚第一中・戸山中地区）

来年4月に中学校が統合する戸塚第一・戸山中地区では、夜の戸塚第一中学校を会場に、納涼肝だめしが行われました。両校の生徒・PTA・スクール・コーディネーターが、大久保・戸塚両地区の青少年育成委員会の協力もあり、企画したものです。統合する2校とその家庭・地域が今後交流を深めていく大きなきっかけとなりました。

大江戸ダンス（落合第二中地区）

落合第二中地区では、青少年育成委員会をはじめとする地域の協力のもと、大江戸ダンス実行委員会が発足。子どもたちは、目白大学の学生らと一緒に練習を重ね、9月5日には都庁前でその成果を元気に披露しました。

このように『子どもの居場所づくり』は、青少年育成委員会、スポーツ交流会、町会、体育指導委員など地域の団体や、多くの個人ボランティアの方々のご協力によって支えられています。これからも地域の皆様の子どもを見守るご支援ご協力をお願いいたします。

都庁前で披露した大江戸ダンス

問合せ
生涯学習振興課地域教育係
☎（5273）3147

「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。

初めての 学校選択制度～アンケート結果報告

区立小・中学校の新1年生の保護者の皆さんにご協力をいただき、今年度から始まった学校選択制度に関するアンケートを行いました。その結果がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。詳細な結果については、新宿区教育委員会ホームページでご覧いただけます。

いただいた貴重なご意見は、今後の学校選択制度の充実に向け活用させていただきます。

問合せ　学校運営課学校運営支援係　☎(5273)3089

【実施時期】平成16年7月
【調査方法】区立学校に在籍している小・中学校の1年生の保護者を対象とし、学校を通じて配布・回収しました。

配布数	配布数	回収数	回収率
小学校	1,261	1,107	87.8%
中学校	971	855	88.1%

Q1 入学した学校

	小学校	中学校
通学区域の学校	73%	77%
通学区域外の学校	23%	20%
新宿区外から通学	1%	2%

Q2 入学する学校を選んだ理由（複数回答可）

	小学校	中学校
自宅からの距離・通学の安全	68%	59%
通学区域の学校だから	61%	64%
子どもの友人関係	40%	52%

Q3 通学区域の学校を選ばなかった理由（複数回答可）

	小学校	中学校
子どもの友人関係	45%	43%
自宅からの距離・通学の安全	42%	――
児童・生徒数が少ない	40%	26%
統廃合の計画	――	20%

Q4 学校を決めるポイントとなった情報を得た方法（複数回答可）

	小学校	中学校
学校公開・学校説明会	43%	39%
友人・知人からの情報	42%	45%
その他（「在席している兄弟姉妹より」など）	16%	18%

Q5 一斉学校公開期間に見学をしたか（複数回答可）

	小学校	中学校
通学区域の学校を見学	39%	30%
通学区域外の学校を見学	18%	13%
見学しなかった	40%	53%

Q6 希望した学校（通学区域の学校を含めて）に入学してよかったか

	小学校	中学校
入学してよかった	48%	44%
まだわからないが、充実した学校生活を送れそう	33%	42%
不安がある	9%	7%

Q7 当初希望した理由について入学後どのように感じているか

	小学校	中学校
おおよそ入学前から推測・確認していたとおり	78%	78%
違っている点が多かった	5%	6%

＊原則として、回答の多かった上位3項目を掲載
＊表示している%は回収数に対する割合

地域に密着した図書館に向けて

図書館サポーター活躍中

新宿区立図書館サポーター制度を導入して半年が経ちました。現在、約150名のサポーターが資料整理をはじめ読み聞かせ、家庭配本、音訳などの幅広い分野で活躍しています。

サポーターによる読み聞かせは、現在6館で行っています。読み聞かせに適した本を選ぶための学習会を定期的に開いたり、発声練習をするほか、10月と11月には、講師を呼んで読み聞かせの講座を開催するなど、多くのサポーターが熱心に取り組んでいます。残りの3館でもサポーターによる読み聞かせを順次始める予定です。

活動の多くを占める資料の返却・整理には「とても体力を消耗する仕事で、こんなに大変だとは思わなかった」「いろいろな本を見ることができて楽しい」「利用者のときとは、違った視点から本とふれあうことができる」と感想が寄せられています。サポーターの活躍で、よりスムーズに書架の整理が行われています。

また、利用者の立場から考えた配架や図書館に対する提案もたくさん出されています。『地域に密着した図書館』を目指す図書館と地域をつなぐパートナーとして、今後いっそうの活躍が期待されます。

私たちが図書館でお待ちしています

こどもホームページが新しくなりました！

今年7月、新宿区立図書館ホームページ内の「こどもホームページ」をリニューアルしました。ほぼひらがなとカタカナだけでご案内し、かわいらしいイラストを使って、小さなお子さんにも見やすくわかりやすいページとなっています。

こどもホームページではこんな情報を提供しています！

◇人気のある児童図書・CD・ビデオの紹介（予約のランキングなど）
◇新しい（新着）児童図書・CD・ビデオの紹介
◇上映会、人形劇、工作会、お話会の日にち・時間
◇資料検索（マウスで文字をクリックしていくだけで検索できます）
◇図書館の地図（目印として近くの学校の位置も載せました）

今後もテーマ別に本を紹介するなど内容を充実させ、図書館に足を運ぶきっかけとなったり、読書の幅の広がりにつながるようなホームページづくりを目指していきます。中高生の方もぜひご覧ください。

子ども読書活動の推進

新宿区では、本年3月に「子ども読書活動推進計画」を策定しました。

子どもたちがあらゆる機会・場所で本とふれあい、読書がより身近なものとなるよう具体的な取り組みを示したもので、「子どもホームページ」もこの計画の一環として開設したものです。

また、計画の実現をより明確にするために、子どもの読書習慣の定着率や区立図書館の利用率・貸出冊数などについて、数値目標も設定しました。数値目標を設定した計画は、全国的にも珍しく、10月28日～29日まで高松市で行われた「第90回全国図書館大会」で発表しました。

問合せ　中央図書館　☎（3364）1421

特別支援教育の推進に向けて

情緒・通級指導学級

「特別支援教育」は、従来の心身障害教育が対象としてきた障害だけではなく、LD（学習障害）やAD／HD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症など軽度の発達障害を含めて、様々な障害のある児童・生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育的支援を行うものです。平成14年に文部科学省が実施した調査によると、LD、AD／HD、高機能自閉症等の児童・生徒は、約6％程度の割合で通常の学級に在籍している可能性を示しています。

新宿区では、小学校の通常の学級に在籍し、情緒障害や自閉症等のため特別な配慮を必要とする子どもたちに対し、昭和48年から通級制の情緒障害学級を設置して（現在は、戸塚第二小学校に設置）、支援を続けてきました。平成13年頃から入級相談児童数が増加し、障害の状況も情緒障害、自閉傾向等に加えて、LD、AD／HD、高機能自閉症、アスペルガー症候群など多様化してきており、個々に応じた特別な教育的支援が必要な子どもたちが増加しています。

戸塚第二小学校・生活学級

戸塚第二小学校の情緒・通級指導学級（「生活学級」）は3学級あり、1年生から6年生まで28名（10月1日現在）の児童が通っています。通級制の学級なので、ふだんは在籍する小学校で学習し、週に1～2日の決められた曜日・時間に、戸塚第二小学校の生活学級に通って、担当の先生による指導を受けています。

この生活学級では、在籍する学級や学校の中で、集団生活にうまく参加できなかったり、適応しにくいという課題のある子どもたちが自信をもって学校生活を過ごせるよう指導をしています。

生活学級の教育方針

＊個々の児童の実態（能力、行動、興味、学校生活、表現力、集中力等）を的確に把握し、個別の指導計画により指導を行う。
＊児童の発達段階や障害の状態に応じた時程（時間割）を組み、個別指導と小集団指導を併用し、指導の効果を高める。
＊児童の状態を改善するために、1日の生活全般にわたって、学習態度の確立、コミュニケーション能力の向上、学習参加への意欲向上等の「自立活動」を指導の基盤とする。
＊在籍校ならびに保護者との協力、連携を図り、目標の達成に努める。

天神小学校 情緒・通級指導学級の開設

情緒・通級指導学級の充実に対する要望が年々高まっている現状を踏まえ、平成17年4月に天神小学校に情緒・通級指導学級（戸塚第二小学校と同内容）を設置する予定で準備を進めています。

情緒・通級指導学級をはじめ、心身障害教育に関するお問い合わせは、学校運営課で受け付けています。

問合せ　学校運営課心身障害教育主査　☎（5273）3097
新宿区立戸塚第二小学校　生活学級　☎（3205）9605

す。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください
問合せ　教育政策課企画調整係　☎（5273）3074

歴史・学習・スポーツのことならレガス新宿へ

「レガス新宿」は、(財)新宿区生涯学習財団の愛称で、歴史のレ、学習のガ、スポーツのスに由来しています。レガス新宿は、スポーツ施設・歴史博物館・社会教育会館の運営、各種講座・イベントの開催、指導者の紹介など生涯学習情報の提供を通して、生涯学習活動を支援しています。

問合せ　(財)新宿区生涯学習財団(レガス新宿)大久保3-1-2　☎(3232)7701

レガス新宿の生涯学習情報は、情報紙とホームページでチェック

★oh!レガス新宿ニュース発行(タブロイド判)

“ 何か始めたいあなたに、ピッタリの情報がきっと見つかります! ”

歴史・学習・スポーツの楽しい講座・イベント情報が満載の生涯学習情報紙です。毎月5日に発行し、区内の各世帯に新聞折込するほか、図書館をはじめ各公共施設で配布しています。

★新宿区生涯学習財団ホームページ(http://www.regasu-shinjuku.or.jp)

“ 何かお探しの方、まずはアクセス! ”

スポーツ施設の利用案内から講座・イベントの新着情報、スポーツ・学習指導者検索まで、レガス新宿のすべての情報が載っています。

歴史博物館まつり

新宿歴史博物館マスコット
「しょうどうたくん」

11月27日(土)、28日(日)に、“ 歴史博物館まつり ”を開催しました。

当日は、今話題の新撰組をテーマにした歴史講演会や江戸時代の古典芸能を楽しむ「れきはく寄席」(写真)、懐かしの映画上映会などを行い、たくさんの参加者でにぎわいました。

この歴史博物館まつりは、今年7月に設立した『新宿歴史博物館メンバーズ倶楽部』の設立記念イベントでもあり、メンバーズ倶楽部会員の初めての交流会もあわせて開催されました。和やかな雰囲気のなか親睦を深めた会員は、「新宿区内に残されたさまざまな史跡や文化財を一緒にめぐる仲間を見つけたい」「日頃から自主的に進めている調査や研究の成果をメンバーズ倶楽部の他の会員に向けて発表する場がほしい」と語っていました。今後のメンバーズ倶楽部会員の熱心な活動が期待されます。

なお、『新宿歴史博物館メンバーズ倶楽部』は現在も会員を募集しています。入会方法や会員特典については、新宿歴史博物館までお問い合わせください。

問合せ　新宿歴史博物館　☎(3359)2131

第3回新宿シティハーフマラソン

舞台は国立競技場。マラソン愛好家から幼児まで3000名以上が参加予定。ゲストはエスビー食品陸上部監督の瀬古利彦さんとアテネパラリンピックでマラソン金メダリストの高橋勇市さん。ハーフマラソン終了後は、ゲストシンガー中村あゆみさんのミニライブもあります。沿道から国立競技場から、みんなで応援してください!

【日時】平成17年1月30日(日)
9:00～ 健康マラソンの部(3km)
9:05～ 健康マラソンの部(2km)
9:15～ 10kmの部
10:35～ハーフマラソンの部(21.0975km)

【主催】新宿区、新宿区教育委員会、新宿シティハーフマラソン実行委員会

【主管】(財)新宿区生涯学習財団、新宿区陸上競技協会、東京陸上競技協会

問合せ　生涯学習財団事業課　☎(3232)7701

平成16年度　第1回　幼児・児童・生徒表彰

教育委員会では、平成16年11月12日に第1回「幼児・児童・生徒表彰」を行い、表彰状と盾を授与し、その栄誉をたたえました。

★団体　牛込第三中学校吹奏楽部:平成16年度東京都吹奏楽コンクール　銀賞
演奏活動を通じ、地域行事に積極的に参加

★個人　キローラン木鈴(こりん)(四谷第六小学校6年):平成16年度全日本少年サッカー　3位等
キローラン菜入(ないる)(四谷第六小学校6年):平成16年度全日本少年サッカー　3位等
吉森彩夏(よしもりあやか)(落合第一小学校6年):第26回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会　小学生水球　4位

新宿区教育委員会の動き

◆教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成16年7月16日から12月8日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

■議　案

- ○平成17年度使用新宿区立小学校教科用図書の採択について
- ○平成17年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について
- ○新宿区立区外学習施設条例(制定)について
- ○平成16年度新宿区一般会計補正予算(第3号)について
- ○指定文化財の指定について

■報告事項

- ○移動教室・夏季施設のあり方(最終報告書)について
- ○四谷地区三小学校統合協議会について
- ○新宿区第四次実施計画、新宿区第二次行財政改革計画(中間のまとめ)
- ○学校選択制度に関するアンケート結果について
- ○新宿区幼保連携・一元化の進捗状況について

■教育委員の就任について

内藤頼誼委員、熊谷洋一委員は12月7日で任期が満了いたしましたが、12月8日に引き続き区長から任命されました。また、山﨑輝雄教育長の任期満了に伴う退任により、新たに金子良江委員が12月8日に区長から任命され、同日付で教育委員会は新教育長に任命しました。

教育委員会の構成及び任期は次の表のとおりです。

職名	氏名	任期
委員長	木島富士雄(きじまふじお)	平成13年10月17日～平成17年10月16日
委員長職務代理者	櫻井美紀子(さくらいみきこ)	平成14年10月1日～平成18年9月30日
委員	内藤頼誼(ないとうよりよし)	平成16年12月8日～平成20年12月7日
委員	熊谷洋一(くまがいよういち)	平成16年12月8日～平成20年12月7日
教育長	金子良江(かねこよしえ)	平成16年12月8日～平成20年12月7日

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日程、場所、開始時刻、議案等については、教育委員会掲示板に掲示しています。または、下記までお問合せください。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴をするのに不適当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不適当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ　教育政策課管理係　☎(5273)3070

●新宿区は、身近な環境に配慮した、地球にやさしいまちづくりを推進しています。「しんじゅくの教育」は、森林資源の保護とリサイクル促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています